

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

2020年12月7日

審査機関名： ペリージョンソンレジストラ
クリーンディベロップメントメカニズム株式会社

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A 重油ボイラからバイオマスボイラへの更新プロジェクト
承認番号	JCDM-PJKC1108
排出削減事業者名	一戸町
排出削減共同実施事業者名	株式会社F Tカーボン
事業実施場所	奥中山高原温泉 朝朱の湯 岩手県二戸郡一戸町奥中山字西田子662-1
事業の概要	本事業は、奥中山高原温泉朝朱の湯において、A 重油ボイラ 1 基を木質バイオマスボイラ 1 基へ更新するものである。木質バイオマスへのエネルギー転換によって、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度：23 tCO2/年 2012 年度～2018 年度：276 tCO2/年 2019 年度：253 tCO2/年 (事業実施期間合計：2,208 tCO2)
クレジット認証期間	開始日：2012 年 3 月 15 日 終了予定日：2020 年 3 月 14 日
排出削減方法論	方法論番号 001：ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2016年4月1日 ～ 2020年3月14日 (J-クレジット制度移行後第2回実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	377 tCO ₂ (2016年4月1日 ～ 2020年3月14日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、継続して承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを、現地の現状画像、関係者へのヒアリング及び入手した関連資料より確認した。 1)承認排出削減事業計画通りに、木質チップを使用したバイオマスボイラが継続して使用され、熱源として家消費していることを確認した。また、前回実績確認と期間が重複していないことを確認した。 2)更新後のバイオマスボイラは実績確認の期間中継続的に稼動していることを、本実績報告対象期間における木質チップ調達状況により確認した。 3)事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、事業者への質問、前回の実績確認報告書などにより確認した。 4)その他、本事業の承認排出削減事業計画において、デフォルト値について J-クレジット制度で規定されているものを新たに採用していること、責任者及び担当者に変更があったことを確認しているが、プロジェクトの質に影響する重要な変更が無いことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論に従って算定されていることを確認した。 1)承認排出方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認した。 2)木質チップ使用量について、チップ供給会社から毎月送付される請求書をファイリングし、使用量の把握・管理が確実

	<p>になされていることを確認した。</p> <p>3) 排出削減量の算定式及び算定に使用されている単位発熱量、排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>4) その他、排出削減量の算定において重大な変更がなされていないことを確認した。</p>
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	算定期間は、2020年3月14日までであり、認証期間の終了日である2020年3月14日を超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）
特になし。

6. 特記事項

本モニタリング期間における再生可能エネルギー利用量については原油換算で 146.7kL であることを確認した。